



# くにたち市議会だより



第2回定例会  
第1回臨時会

No.253

令和2(2020)年  
8月5日

発行：国立市議会 編集：広報委員会

国立市富士見台2-47-1

Tel：042-576-2111 Fax：042-576-2205  
http://www.city.kunitachi.tokyo.jp/gikai



アンネのパラ  
【市役所西側敷地内】

育つ平和  
ほころぶ幸せ



広島の被爆樹木二世：アオギリ  
【市役所西側敷地内】

## 9月議会(第3回定例会)の日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
8/16	17	18 請願・陳情 提出締切 <sup>正午</sup> 初日手話 通訳締切	19	20	21 議会運営 委員会	22
23	24	25	26 本会議 初日	27	28 本会議 一般質問	29
30	31 本会議	9/1 本会議 一般質問	2 本会議	3	4 総務文教 委員会	5
6	7 建設環境 委員会 最終日手話 通訳締切	8 福祉保険 委員会	9	10	11 議会運営 委員会	12
13	14	15 本会議 最終日	16	17	18	19

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点等から、日程などが変更になることがありますので、ご理解、ご協力をお願いします。なお、変更になった場合は国立市議会ホームページでお知らせいたしますのでご確認ください。

開会時刻：午前10時の予定です。

請願・陳情の締切：8月18日(火)正午までに議会事務局へご持参ください。  
手話通訳申込の締切：国立市議会では本会議の初日と最終日に、手話通訳者を配置しております。手話通訳を希望される方は、右QRコードより、議会ウェブサイト「令和2年第3回定例会の手話通訳の申込みについて」をご覧ください。



## 今号のトピックス

- 中小企業支援給付金、住居確保給付金、ひとり親世帯への臨時給付金等を含む補正予算案が可決されました  
[第35号議案→3面に結果]
- プレミアム付商品券発行事業を含む補正予算案が可決されました  
[第40号議案→2面に詳細]
- 臨時休園等支援、避難所での新型コロナウイルス対策、GIGAスクール設備費等を含む補正予算案が可決されました  
[第41号議案→2面に詳細]
- 新型コロナウイルスに関する傷病手当金支給のための国立市国民健康保険条例の一部を改正する条例案が可決されました  
[第39号議案→3面に結果]
- 子どもの食応援事業、PCR検査体制支援事業、インフルエンザ予防接種助成事業、商店街活性化事業、テナント家賃支援金事業、公立学校新型コロナウイルス対策消耗品費等を含む補正予算案が可決されました  
[第43号議案→2面に詳細]
- 陳情(第5号・6号・7号・8号)を審査しました [3面に結果]
- 国立市新型コロナウイルス感染症対策基金が設立されました  
[第54号議案→8面に詳細]

プレミアム付商品券発行事業を含む補正予算案が可決されました

【第40号議案】 令和2年度国立市一般会計補正予算(第4号)案

【可決】

こんな質疑がありました

- Q プレミアム付商品券発行事業
Q 商品券の額面、枚数、発行冊数、対象者は。
A 1枚500円24枚つづりで1万2千円の商品券を1万円...

こんな質疑がありました

- Q 事業者が現金化するのにかかる日数は。
A 毎週金曜までに受け付けた分が翌週水曜に現金化できる。
Q 予算の2千900万円の内訳は。
A プレミアム還元分2千万円、残り900万円弱が事務費、...

こんな討論がありました

- Q 今後、電子決済での事業も検討してもらいたい。
A 実績へ結びつけるためにも、今までない多くの事業者へ参画の呼び掛けを。
A 大手スーパーやドラッグストアで使えるようになる...

臨時休園等支援、避難所での新型コロナウイルス対策、GIGAスクール設備費等を含む補正予算案が可決されました

【第41号議案】 令和2年度国立市一般会計補正予算(第5号)案

【可決】

こんな質疑がありました

- Q GIGAスクールの構想
A 目的と、事業内容は。
A 変化の激しい世の中を豊かな創造性をもって生きていく力、持続的な社会のつくり手...

こんな質疑がありました

- Q 段ボールベッドの配備は。
A 今回は含まれない。エアマットを使う。段ボールベッドは保管時、かさ張るのが課題。
Q 訓練が必要になると思うが。
A 開設訓練を実施する。
Q 非認知能力を伸ばす教育を途切れさせず行うためには。
A 「学びに向かう力・人間性の涵養」を育てるべき重要な資質、能力としている。

こんな討論がありました

- Q 1人1台のPCにより大きく教育現場が変わっていく。
A 子どもたちの学習権を保障する取り組みを期待する。
A 的確な避難所運営で市民が安心できる体制づくりを。
A 誰も排除しないGIGAスクール構想を利用した教育にしたい。

子どもの食応援事業、PCR検査体制支援事業、インフルエンザ予防接種助成事業、商店街活性化事業、テナント家賃支援金事業、公立学校新型コロナウイルス対策消耗品費等を含む補正予算案が可決されました

【第43号議案】 令和2年度国立市一般会計補正予算(第6号)案

【可決】

こんな質疑がありました

- Q 子どもの食応援事業補助金の概要を問う。
A 児童扶養手当や児童育成手当を受給しているひとり親家庭を対象に、市内飲食店で利用できるクーポン券を1人当たり5千円配布する。
Q 子どもの食応援事業を地元飲食店のテイクアウト事業にした理由や狙いは何か。
A まちの活性化を含め、ステイホームで頑張った子どもたちを少しでも元気にしたい。...

こんな討論がありました

- Q 縦割りを外し国立市の独自性のある事業が多く、高い効果が期待できる。元気高齢者への早急対応が必要不可欠。元気高齢者80%維持を望む。
A 子どもの食応援事業が子どもの虐待、貧困防止に繋がることを期待する。すべての子どもに対する支援と引き続いての子ども施策を望む。
A 子ども食応援事業がQRコードで申請できることを評価する。LINE@でのアンケートで保護者や子どもと繋がり、更なる支援を望む。
A コロナ禍から市民を守り抜くとの市長の強い決意を感じた。特にテナント家賃支援金事業を評価する。市内事業者を行政と議会をあげて応援していきたい。

令和2年第2回定例会 令和2(2020)年6月3日～6月23日				各会派の議案等への賛否 ○：賛成 ×：反対												
	議案番号	件名	概要	会派名(人数は議長を除く数)										議決結果		
				自3	風4	共3	公3	新2	立1	こ1	み1	樹1	耕1			
市長提出議案	第40号	令和2年度国立市一般会計補正予算(第4号)案	【補正額：+2,888万8,000円】【補正後総額：400億3,007万円】 【主な内容】プレミアム商品券発行事業による増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 ○20
	第41号	令和2年度国立市一般会計補正予算(第5号)案	【補正額：+2億2,025万円】【補正後総額：402億5,032万円】 【主な内容】GIGAスクール構想に基づく環境整備のための無線LANアクセスポイント設置工事、臨時休園等支援事業等による増額	○	○ <sup>3</sup> <sub>×1</sub>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 ○17・×3
	第42号	令和2年度国立市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)案	【補正額：+540万円】【補正後総額：73億2,528万9,000円】 【主な内容】傷病手当金の支給による増額													
	第43号	令和2年度国立市一般会計補正予算(第6号)案	【補正額：+2億5,053万9,000円】【補正後総額：405億85万9,000円】 【主な内容】中小企業支援給付金、ひとり親世帯臨時特別給付金、PCR検査体制支援事業等による増額													
	第38号	国立市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例案	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、放課後児童支援員のための研修の実施主体の追加等を行うため、条例の一部を改正する													可決 ○20
	第39号	国立市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	給与等の支払いを受けている被保険者が、新型コロナウイルス感染症に感染し、又は感染の疑いが生じ、労務に服することができず給与等の支払を受けられないとき、一定の要件を満たした者に対して傷病手当金を支給するため、国民健康保険条例の一部を改正する													
	第54号	国立市新型コロナウイルス感染症対策基金条例案	新型コロナウイルス感染症によって影響を受けた市民生活及び経済活動の状況に鑑み、議会の決議に基づき、議会費の一部、市長、副市長、教育長の給与の一部並びにくにたち未来寄附制度による寄附金を原資とし、新型コロナウイルス感染症対策の資金に充てるため、国立市新型コロナウイルス感染症対策基金を設置する条例を制定する													
	第55号	市長等及び教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例案	市長、副市長及び教育長の給与及び期末手当の減額措置の割合を変更するため、条例の一部を改正する													
	第44号～第53号	国立市農業委員会委員任命の同意について	澤井 武 氏、佐伯 達哉 氏、田中 賢治 氏、遠藤 利光 氏、遠藤 良信 氏、北島 直芳 氏、関 貞雄 氏、鈴木 政久 氏、関 藤子 氏、小鹿倉 薫 氏 【任期 令和2(2020)年7月20日～令和5(2023)年7月19日】													同意
	第36号	令和2年度市道富士見台第6号線道路改良工事請負契約の締結について	【契約金額】2億9,062万円 【事業者】新開工業株式会社 【契約方法】電子入札による制限付き一般競争入札(総合評価方式) 【内容】国立市道富士見台第6号線(さくら通り)において、改修工事を行う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 ○20
第37号	国立市公共下水道事業に関する業務委託契約の締結について	【委託金額】4億7,176万9,000円を上限とする額 【事業者】公益財団法人 東京都都市づくり公社 【契約方法】随意契約 【内容】製管工法による管きょ改築工事及びマンホール更生工事を行う	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 ○20	
意見書	第3号	マイナンバーに各種預金口座をひもづけることに慎重な対応を求める意見書案	【提出者:関口博議員ほか2名】(賛成者1名) マイナンバーと口座をひもづけるシステムを構築するには、多大な開発費が必要であり、時間もかかる。早急に新型コロナウイルス対策の充実を図らなければならない今、マイナンバーに各種預金口座をひもづけることに慎重な対応を求める	×	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	可決 ○11・×9	
陳情	陳情第5号	市長・副市長・議員の給与・賞与削減に関する陳情	【陳情者:国立市民】 12月末日まで市長・副市長は給与・賞与は30%カット、議員は20%カットを求める	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択 ×20	
	陳情第6号	女性活躍推進法及び次世代育成支援対策推進法に基づく特定事業主行動計画の改定に関する陳情	【陳情者:国立市民】 1.「国立市女性活躍推進アクションプラン」の振り返りについて確認したい。平成30年度に実施済みの振り返り(中間)を含む全期間の振り返り(最終)の内容を公表していただきたい 2.現在の管理職名簿をもとに、「国立市女性活躍推進アクションプラン」および「国立市女性と男性及び多様な性の平等参画を推進する条例」に基づく「積極的改善措置」がどのように反映されているか、プラン・条例の実効性や女性管理職割合の経年比較の観点から確認したい 3.女性活躍推進法及び次世代育成支援対策推進法に基づく特定事業主行動計画の改定の取り組みの最新状況について確認したい	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択 ○20	
	陳情第7号	国立駅周辺まちづくりに関する陳情	【陳情者:ひろばとまちを考える会@国立】 1.「国立駅周辺まちづくり基本計画(2009(平成21)年11月国立市策定)」にある基本方針「事業全体を一貫してコーディネートし、継続的にマネジメントできる体制づくりとして、専門家、市民、関係機関等が一堂に会し、事業を検討・協議できる組織を設置します」を現在も維持していることを確認したい 2.検討・協議して議論するべき課題が多い南口駅前広場整備事業を、2023(令和5)年度着工に向けて推進するために、市民、学識経験者、関係機関による開かれた議論の場を速やかに設置していただきたい	×	○	×	×	×	○	○	×	×	○	○	不採択 ○7・×13	
	陳情第8号	国立市小中学校給食の更なる充実に向けての陳情	【陳情者:国立市民ほか11名】 1.国立市の未来ある子ども達の成長を根幹に据え、実効性のある「食育推進基本計画」の制定をお願いします 2.新給食センター建設については、子どもや市民の意見を幅広く取り入れてください	×	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	採択 ○11・×9	
その他(動議)		【提出者:青木健議員ほか19名】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による社会・経済情勢に対応するための基金設立の決議の提出を求める動議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 ○20	

令和2年第1回臨時会 令和2(2020)年5月21日				各会派の議案への賛否 ○：賛成 ×：反対											
	議案番号	件名	概要	会派名(人数は議長を除く数)										議決結果	
				自3	風4	共3	公3	新2	立1	こ1	み1	樹1	耕1		
市長提出議案	第32号	専決処分事項の報告及び承認について【令和2年度国立市一般会計補正予算(第2号)】	【補正額：+78億548万1,000円】【補正後総額：397億9,880万2,000円】 【主な内容】特別定額給付金や子育て世帯への臨時特別給付金の支給等による増額												承認 ○20
	第35号	令和2年度国立市一般会計補正予算(第3号)案	【補正額：+2億238万円】【補正後総額：400億118万2,000円】 【主な内容】中小企業支援給付金や住居確保給付金、ひとり親世帯への臨時給付金の支給等による増額	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 ○20
	第33号	専決処分事項の報告及び承認について【国立市市税賦課徴収条例等の一部改正】	【主な内容】未婚のひとり親に対する税制上の措置及び寡婦(寡夫)控除の見直しに係る整備、固定資産税を現に所有している者の申告の制度化等の改正を行う												承認 ○20
	第34号	専決処分事項の報告及び承認について【国立市市税賦課徴収条例の一部改正】	【主な内容】生産性向上の実現に向けた固定資産税の特例措置の拡充や新型コロナウイルス感染症の影響により収入が大幅に減少した場合において、無担保かつ延滞金なしで1年間、徴収猶予ができる特例に係る手続の整理を行う												

会派略称 自=自由民主党(青木健・石井伸之(議長)・高柳貴美代・遠藤直弘) 風=社民・ネット・緑と風(藤田貴裕・古濱薫・重松朋宏・関口博) 共=日本共産党(高原幸雄・住友珠美・柏木洋志) 公=公明党(小口俊明・青木淳子・香西貴弘) 新=新しい議会(藤江竜三・石井めぐみ) 立=立憲民主党(稗田美菜子) こ=こぶしの木(上村和子) み=みらいのくにたち(望月健一) 樹=樹木の会(石塚陽一) 耕=耕す未来@くにたち(小川宏美)

一般質問とは、議員個人が市政全般について行政当局（市長や教育委員会など）に質問することです。一般質問発言順に、各議員本人が要旨をまとめたものを掲載しています。

新型コロナウイルス対策には市と医療機関の連携が不可欠！

社民・ネット・緑と風

古濱 薫 議員

- 健康危機管理対策本部のメンバーに市内の医師を加える考えはないのか。
必要に応じて招集し、参加していただく。
4市合同で運営するPCRセンターの状況は。
約10日間で50名余りが受診している。情報公開は都の判断になる。
休校中、耳の聞こえにくい児童生徒への電話連絡は困難さがあつた。これからマスク着用で相手の口元が見えず益々苦勞すると思われるが対策は。
ロジャー（音声を直接補聴器に伝える機器）の使用や、会話が文字化されるソフトで視覚化を行う。



子どもの心とからだをまもることも宅食の早期導入を！

新しい議会 石井めぐみ 議員

- 若い世代に転入してもらうための施策や住環境政策はあるか。
安心して子どもを産み育てられる環境づくりと非日常の魅力としての様々なイベントを展開している。新設される矢川プラザは、新たな市のブランドになると考える。
現在は、市の魅力を市外に伝える術がない。「くたしNAVY」を転入を促すPRサイトとして活用できないか。
充分な情報量があるので、市としてのビジョンを明確にした上で、工夫を凝らしたバナーでリンクを張ることは可能。



新型コロナウイルス感染症による市民生活に対する対応

樹木の会 石塚 陽一 議員

- 高齢者世帯やひとり親世帯に対する救済と支援。
24時間の相談体制を確保し専門職による補助の必要性、方法などを検討。ひとり親世帯は個別に連絡し市の独自施策として児童扶養・育成手当の受給先のお子さんに1万円の臨時給付金を給付した。
市内在住在学学生の支援。
市及び社会福祉協議会が住居確保給付金や緊急小口資金の相談で対応。
プレミアム商品券の対応。
地元中小企業振興施策として商工会とタイアップし、市が20%、商工会が10%のプレミアムをつけて商品券を7月に販売する。



コロナ禍でのオンライン学習の早期実現で学びの保障を！

公明党 西西 貴弘 議員

- 市内小中学校の約2か月にわたる休業の学習内容をどのように補うのか。
未実施の授業日数41日間の内、夏休み短縮と土曜日授業で計20日間、残りは授業内容の精選と家庭学習との連携で補う。
万一、校内で罹患者が出たときの対応はどうか。
原則学校全体で2週間を目安に臨時休業を行う。ただし、保健所の指導の下、総合的に考慮して休業の実施の有無や規模、期間を柔軟に判断する。
1人に1台パソコンを付与するGIGAスクール構想実現への課題は。
4千台ものPCを扱う



給食のPFIは見直すべき事業者に対しコロナ支援を！

日本共産党 柏木 洋志 議員

- 浸水想定区域に新学校給食センターを建てることは適切ではないのでは。
浸水想定区域外での用地取得可能性は限りなく低い。
食育推進基本計画を策定すべきではないか。
政策経営部中心で食育に関して課題の抽出を行っている。
VFM計算書を見る限り、直営の方が安くなるのではないかと。
直営の方が安くなるという結果はない。
現建設予定地の浸水想定は何メートルか。
債務負担行為議決当時0.5~1mと想定。



新型コロナウイルス対応の経済支援策を急げ

社民・ネット・緑と風

藤田 貴裕 議員

- 就学援助の準要保護世帯に、臨時休校中の給食費相当額を支給できないか。
4月・5月の相当額について支給を検討する。
市は子育て世帯に独自の給付金を出さないのか。
国の補助を受けて、児童手当支給対象児童一人につき1万円を給付する。
国の補助を受け、児童手当支給対象児童一人につき1万円を給付する。
会計年度任用職員の休業補償はどのようにしているのか。
60%の休業手当を出した。休業期間中も他部署への応援など、できる限り100%報酬を支給できるように工夫した。
他、オンライン教育などを質問。



新しい働き方へ

新しい議会 藤江 竜二 議員

- 新型コロナウイルスの影響で学校の不要な行事を精選できた面もある。先生の負担を考えると平時の行事も精選したほうが良いのではないかと。
今回の状況で思い切った形の行事の変更、調整を行っていかねばならない。その過程の中で学校の中でも様々な気付きを得ることができた。
PCR検査センターについて、行政としてどう考えるのか。
後方支援を担っていく。従事者が感染した場合の補償は。
今後検討することが出てくると推測している。



風水害、新型コロナウイルスへの対応を求め

公明党 小口 俊明 議員

小口 俊明 議員

- 台風時の緊急速報メールの活用について。
昨年は配信しなかった。今シーズンは活用する。
避難所運営における地震想定時と風水害時の対応について。
震災想定時の避難所運営マニュアルはあるが風水害想定のものはない。今後作成していく。
高齢化集合住宅での自主防災組織のモデルケースの中で避難所の三密を避けるため自宅避難を適応できないか。
自宅避難に必要な備蓄品の検討につき自治会と意見交換している。
市が保有する備蓄マスクを必要とする市民に提供することはできないか。
避難所の備蓄マスクは数量確保が必要。状況を判断し柔軟に対応したい。
オンラインでの医療機関の受診について。
市内医療機関では電話での診療が26機関。電話とオンラインは1機関。
今後は医師会と協議する。
PCR検査等も視野に入れた発熱外来について。
医療機関ごとに時間帯や動線を工夫している。
4市連携でPCR検査センターを開設した。主治医又は市保健センターで必要に応じて予約し、検査を受けることができる。



# 一般質問 要旨・発言順

子どもから高齢者まで  
市民が本当に必要な施策を！



日本共産党 住友珠美 議員

Q ジェンダー平等の観点から、市役所の女性管理職を増やす為に効果的な施策である、ポジティブアクション(ゴール&タイムテーブル方式など)を実施すべきだがどうか。

A 女性管理職の割合の向上は必要。ゴール&タイムテーブル方式は策定中の特定事業主行動計画に入れていきたい。

Q 特別定額給付金のコールセンター対応について、DVや虐待といった配慮が必要な方からの相談に対し、齟齬があったため、適切に行うよう要望するが体制はとれているか。

A 特別定額給付金について、

様々な家庭に的確な支援を!!



立憲民主党 榊田美菜子 議員

Q 休校中の家庭学習に対する学校の学習支援体制はどうなっていたか。

A 5月以降の未習部分の学習は総合的に見て必要ときは対面での指導をしていたが、こまめに対応するかなど課題はあったと認識している。

Q 学校再開後の学習は。

A 休業日の短縮、土曜授業の活用、行事の精選をしながら1年間で取り戻す予定。

Q 1学期の評価は。

A 家庭学習そのものを評価するのではなく家庭学習を踏まえた学習についてテストなどを行い、総合的に評価する。

学校給食センター評価委員に  
地域と繋がる市民卒の復活を  
耕す未来@くたし



小川宏美 議員

Q 安倍首相から2月末、突然「全国一斉休校要請」が出されたが、意思決定プロセスへの不信が国民の間で募っている。3か月の休校で子どもや家庭が受けた負担や犠牲を検証しておく必要があると考えるがどうか。

A 権限者が出なかつた効果と別に子どもの学びへの影響では課題が残った。

Q 通常登校が始まったが、学校現場の苦労は続く。コロナ対応も不十分な中、いま、何が大切か。

A 【教育長】子どもの安全と最善策の見直し。間違ってても学校や教員の都合からスタートしないこと。

Q 学校給食センターの大

ポスト・コロナの社会は、  
より、ゆっくり、近く、寛容に



市民・ネット・緑と風 重松朋宏 議員

Q コロナ対応時の行政サービス縮小の期間・内容に一貫性がなく、理由や見直しも説明されなかつた。どう検証しているか。

A インフルエンザ特措法制定後、初めての対応だった。各課で振り返り、検討を行う必要がある。

Q 他市と比べても①給食や②学校教育が止まった。今後どうするか。

A ①給食センターの資源をどう活かすか、前向きに検討したい。②大まかな予定は早めに出したい。

Q 4月に会計年度任用職員(パート)制度導入と同時に業務縮小になったが、影響はあったか。

コロナ禍に挑戦し  
負けないための対策と支援を



公明党 青木淳子 議員

Q 感染症に対応した避難所運営を問う。

A 指定避難所以外の避難所を開設する。市民に自宅や親せき等の避難を検討していただく。学校内のスペースの拡充を図る。

Q 避難者の健康管理や避難所の清掃・消毒・換気を徹底する。衛生用品等や非接触型体温計、簡易型避難用テントを備蓄する。

Q 妊産婦・乳児救護所設置のため、東京女子体育大学及び助産師会と連携協定を結ぶのはどうか。

A 東京女子体育大学と包括協定を結び、助産師会とも協定を結んでいる。

妊産婦・乳児救護所設置

市民が何を望んでいるか、  
自治体に求められる力



市民・ネット・緑と風 関口博 議員

Q 10万円の特別定額給付金のマイナンバーカードを使ったオンライン申請を多数の自治体で中止したのはなぜか。

A 職員が申請書をダウンロードし、プリントアウト後、住基リストと突合する時間がかかった。またマイナンバーカードのパスワードの再発行で窓口の混乱があり、自治体ごとに中止を判断した。

Q オンライン申請の失敗は、住基リストとの突合で時間がかかっていることだが、誰の指示か。

A 国の実施要領にある。マイナンバーカードを使つてのオンライン申請は時

コロナ感染拡大防止対策  
豪雨多摩川氾濫対策を



日本共産党 高原幸雄 議員

Q 新型コロナウイルス感染症防止対策について、国の特別定額給付金の第2次給付を国に要望する考えはあるか。就学援助児童の育成手当受給世帯への市のさらなる支援をすべきであるがどうか。

A 第2次給付を国に要望する考えはない。国による追加的な給付等が必要課題があれば、市長会を通じて要望していく。

Q 乳幼児健診延期に伴う対応を問う。

A 3・4か月児は市内小児科医で個別健診を実施中。歯科健診も個別健診を実施する。7月以降3歳児集団健診を再開する。他、テイクアウト支援や学生支援を質問。

コロナ禍、市民の生活を守る  
ためにあらゆる手段を尽くせ



市民・ネット・緑と風 望月健一 議員

Q 社会福祉協議会と連携した食の支援、いづころ実施するのか。

A なるべく早期に取り組みたいと聞いている。

Q 就学援助給食費相当分の支給、検討状況は。

A 実施に向けて業務を進めていきたい。

Q コロナ禍で急激に所得が下がった世帯の就学援助の取り扱い。

A 対象とできるよう詳細を詰めている。

Q 要望しているスクールソーシャルワーカーの増員の検討状況は。

A 前向きに検討したい。繰り返して要望している子どものインフルエンザ

# 一般質問 要旨・発言順

一般質問とは、議員個人が市政全般について行政当局（市長や教育委員会など）に質問することです。一般質問発言順に、各議員本人が要旨をまとめたものを掲載しています。

## 地域の活動の問題点を問う スタディークーポンについて

自由民主党 遠藤直弘 議員



Q 水害や大規模震災の対応力向上には地域防災力が重要だが市の取組みは。

A 市民防災意識向上の為に、地域防災訓練、出前講座、自主防災組織の技術訓練などを実施している。消防団の定員不足はないが、全国的には不足している。

Q 退団する消防団員を、登録制の予備団員にして大規模災害に備えては。

A 他の基礎自治体では事例がないが、東京都で災害ボランティアを募集している。今後消防団を補完するように、防災体制の充実強化に努める。

Q 地域自治会の回覧板による、感染症の拡大を心配する声がある。電子化する仕組みがないか。

A 地域SNSの「マチマチ」というサービスがあり自治会のコミュニケーションを促進するツールと聞いている。導入にむけて検討している。

Q 小中学生の学習塾や、スポーツ、音楽の習い事で使えるスタディークーポン事業は、収入格差でできる学力や経験などの差を補う事業と考えるが導入の可能性はあるか。

A 東京都が自立促進事業の一つにしたが、対象など具体的な取り扱いの検討をしている。都の動向を確認し、検討する。

## コロナ禍を乗り越えてピンチをチャンスに変える取組を！

自由民主党 高柳貴美代 議員



Q コロナ禍の中、コミュニケーションがとれなくなり、オンラインによる繋がりが必要を強く感じた。今後シニア向けのコミュニケーションアプリ、健康管理や介護に関するアプリ等の利用法の講座を開催してはどうか。

A 今後シニア向けのIT普及については、今、地域支援に努力する皆様の状況等を聞き、活用しながら検討する。

Q 妊婦の感染リスク回避の観点から両親学級をオンラインで実施すべき。

A 動画の視聴やビデオ通話等の利用による情報提供を検討する。

Q 国立中の商工業者がコロナ禍により疲弊している。プレミアム付商品券発売も予定されているので給付金や補助金の給付と共に景気回復、経済の循環を狙い、各商店会が新しい生活様式に合わせて取組める、使いやすいく自由度の高い「コロナに負けるな商店街活性化補助金」を創設して欲しい。

A コロナ禍で今までのイベント実施が大変難しいので、市独自で実施している個店連携イベント補助金を活用して支援できるように検討する。

他、子育て支援、高齢者支援について質問。

## 今こそ、ソーシャルインクルージョンの真価を発揮せよ！

こぶしの木 上村和子 議員



Q 国立市は誰も排除しないソーシャルインクルージョンのまちづくりを当事者の声を聞きながら進めてきた。この間のコロナ禍の取り組みにいかせたのか、ソーシャルインクルージョンの視点で質問。

A 3か月に及ぶ小中学校の休校に関して、学校しか居場所がない子どもがいる前提で、子どもが学校に来られる環境をつくるべきではなかったか。

A 学校を開けたいとの気持ちはあったが、当初は新型コロナウイルスの性格がわからず、安全第一に考えた。今後は、子どもたちのためのソーシャルインクルージョン、最終的なセーフティネットとして、どう学校開放するか、しっかり考えたい。

Q 公民館等の社会教育施設も同様に休館に際しても、市民の学習権の保障が生存権の保障につながるという視点での補完措置が求められたが。

A 学ぶ権利、知る権利が一定期間損なわれたのは事実。今後のためにも検証は必要と考える。市民の声を聞いていく。

Q 介助を必要とするしゅうがいしゃや高齢者の日常生活は守れたか。

A ご本人の意思が全うできる支援が最重要。

## 新型コロナウイルス禍における複合災害への対応！！

自由民主党 青木健 議員



Q 新型コロナウイルス禍での生活支援策について。

A 新型コロナウイルスにより生活困窮となった方への住居確保給付金支給、フードバンク事業、就労支援相談等を行ってきた。また、お子さん1人当たり1万円の臨時給付金事業も市独自施策として実施している。併せて中小企業等経営支援金として影響者に一律10万円を6月1日から行っている。

Q コロナ禍での当初予算における歳入見込みは。

A 新型コロナウイルスにより現在の収入が大幅に減少している方等への徴収猶予施策実施による影響額は多いと思われる。

Q コロナ禍において昨年の台風19号のような災害が複合的に発生した場合、ハケ下地域に居住する市民の避難先はどうなるか。

A ソーシャルディスタンスの確保や三密を避けるため小中学校では体育館以外に校舎の活用を考えている。また指定避難所以外の施設についても積極的に開設して行きたい。

Q 台風19号で問題となった車での避難はどうか。

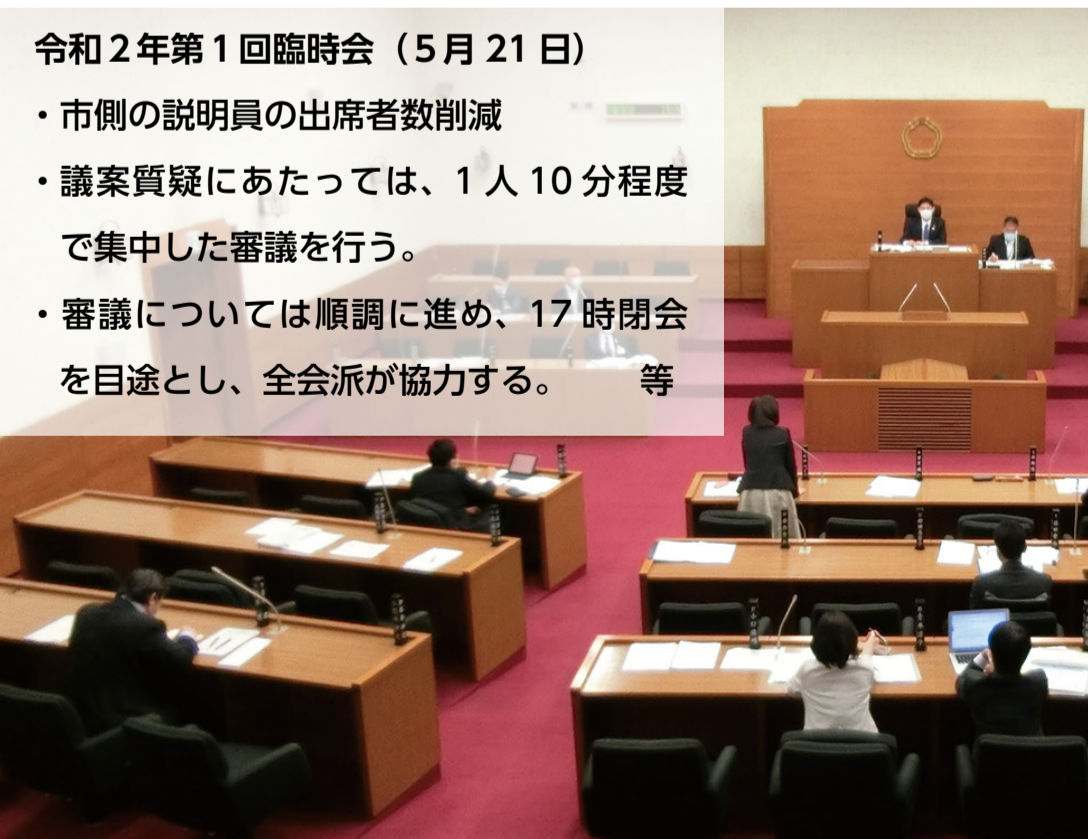
A ご高齢の方や風雨が強くなつてからの徒歩での非難は危険である点を考慮し、実情に応じた避難方法を検討している。

# 新型コロナウイルス感染症対策

国立市議会では、3月議会に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の観点等から様々な対策を行いました。その一部を報告いたします。

### 令和2年第1回臨時会（5月21日）

- ・市側の説明員の出席者数削減
- ・議案質疑にあたっては、1人10分程度で集中した審議を行う。
- ・審議については順調に進め、17時閉会を目途とし、全会派が協力する。等



### 令和2年第2回定例会（6月3日～23日）

- ・短い間隔で休憩とし、換気をこまめに行う。
- ・市側の説明員は答弁者のみとし、最低限のソーシャルディスタンスを確保する。
- ・一般質問時には三密を避けるため、一部の議員は控室で傍聴する。
- ・委員会審査での三密を避けるため、市側の説明員を削減、必要に応じ入退室は自由とする。等

今後も感染拡大防止に努め、議会一丸となって取り組んでいきます。

# 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関する市の取組状況について報告がありました

各常任委員会

## こんな質疑がありました

### 総務文教委員会

Q これまでの取り組み状況について、どうだったのかという検証が今後必要と考えるがどうか。

A 検証については重要であり、感染症を防止する策を練りつつ、効率的にやっていくことをきちんと考えていく必要がある。

第2波、第3波に備えつつ検証していく。

Q 検証していくうえで議事録が必要と思うが、議事録やそれに準ずるようなものは、検討できるのか。

A 他市の事例も参考に決定事項だけ掲載している。議事録などは不明だが丁寧に行けるかどうか検討していく。

Q 夏に学校でのマスク着用により熱中症の心配もある。対策はどのように考えるか。

A マスクと熱中症は考えていかねばならない。場面によりマスクを外すなど細かい指導をしていきたい。

Q 休校が続いたことによる学習面や心身のフォロー体制はどのように考えるか。

A 現在分散登校が始まり、アンケートを取っており、状況を確認している。場合によってはスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーと連携し、対応していきたい。

Q 男女平等参画ステーションでLINE相談を始めたとのことだが、状況はどうか。

A 現在、相談は13件、LINEという特性上若年層による相談を頂いている状況。

Q 災害対策本部議事録について、

ホームページに載せていくというのはいかがでしょうか。

A 今回の公表の仕方については検討していく。

Q 特別定額給付金、高齢者や視覚しようがいの方への対応はどのように考えるか。

A 事前にしようがい・高齢事業所やケアマネ等に情報提供をし、支援を頂いている。

視覚しようがいの方はしようがいしや支援課が情報提供を行っている。

Q 学校における消毒液についてはどうしているのか。

A 消毒液についてはある程度充足している。今後追加の補正はしつかりとお願ひしていく。

Q 特別定額給付金について辞退欄に印をつけつつ、添付書類を添付するということはあるか。

A 注意書きをつけさせていたが、審査段階では特になかった。

### 建設環境委員会

Q コミュニティ施設について、今後の感染者推移によっては貸出し中止もあるのか。

A 状況を判断しながら、閉鎖はあり得ると考えている。

Q コロナウイルスが下水処理場に行ったらどうなるのか。

A 都で水再生センターにおいて検体採取を行っている。検査方法が確立されれば様子を見る。

Q 処理場から多摩川へ放出しているが、ウイルスは残るのか。

A 都の下水道局は、最終的には塩素でコロナウイルスは死滅すると考えている。

Q 今後、支援制度を取られていない方への周知について、市報や商工会のほうできめ細やかに

周知した。必要に応じて2弾、3弾を考えていきたい。

Q 市独自支援制度についてどんな感触か。わかりづらくはなっていないか。

A 持続化給付金と合わせているので難しくはない。給付対象や他制度について周知していく。

Q 一度も利用していない自転車駐輪場の定期利用者には返金や期間変更を行うことについて、周知はどうなっているか。

A 市報やホームページ、はがき等でお知らせした。

Q 中小企業で今後固定費に関連したことが大きな課題になる。家賃補助等についてはどうか。

A 最終本会議に家賃補助に関する補正予算を提案させていただき、事業者に一刻も早く届くようにしていく。

Q (中小企業等経営支援制度は)どれくらいで支払われるのか。

A 概ね2週間、最短9日で振り込まれる。

Q 持続化給付金に対する上乗せはしないのか。

A 国制度の対象者に関しては制度をご案内させていただく。

Q 予算が余った場合はどうするか。

A 同じ補助金の科目の中で融通が利くか確認し、多くの事業者へ渡るよう考えていく。

Q 50%以上売り上げが下がったところにも上乗せ給付できるように制度変更は可能か。

A 答弁という形にはできないが、二の手、三の手を進めていきたいと考える。

### 福祉保険委員会

Q (国保傷病手当について)被保険者が亡くなった場合、同性パート

ナーに支給されるのか。

A トラブル等になってはならないので、慎重に体制を整えることが必要。現行、そこまで整っていないため、国立市では支給できないが、同一案件で都へ照会中。

Q ポジティブにとらえて良いのか。同性パートナーに資する仕組みを作っていくという答弁か。

A 柔軟に対応できる形で、トラブルにならない形で前向きに取り組んでいきたい。

Q 保育園によって衛生基準が様々あり、市の基準を持ってほしいと思うがどうか。

A 症状がある場合は登園を控えてもらうため通知している。それ以上の詳細について統一的なところは難しい。

Q 自宅待機者等生活支援事業についてどのようなスキームか。

A 市職員が生活必需品の購入及び配送を行う。保健所や医師と連携を取っていく。

Q フードドライブなどと協力してはどうか。

A 10日から2週間程度の食料を用意することになる。市内事業者と協力し確保・安定供給をしていきたい。

Q ひとり親世帯への臨時給付事業について4月27日以降に生まれた子どもに対しては考えているか。

A 今のところまだ検討できていない。

Q 医師会・保健所との連携はどのように構築するか。

A 市民の健康と生命を守るため、医療体制を維持できるようにしていく。

Q 予防接種について、どのような状況か。

A 小児の予防接種については、通

常通り行っている。

Q コロナウイルス、インフルエンザと非常に心配な状況になる。体制をつくった状態で予防接種を実施しているのか。

A 今後、コロナウイルスとインフルエンザの流行が重なっていくので、保健所などを中心に支援を進めていく。

Q 健康危機管理対策本部会議という形より、こまめに確認していく場があったほうが良いのではないか。

A 下部組織として運営部会を設けている。

Q 協議して決めたことを事後検証できるようにはなっているのか。

A きちんとした議事録までは残していない。

Q 課題として何が必要と思っているか。

A アウトリーチが重要であり、相談のハードルを低くする取り組み、そして市に直接相談することができないという方が団体や個人を通じ市とつながっていく取り組み。この二つが今後必要である。

Q 財団が委託した会社から派遣されている人たちが休業補償を支払われなかったという問題がある。調査・検討すべきではないか。

A 調査して、内容を確認させていただきたい。

## こんな意見がありました

### 総務文教委員会

●6月、7月とコロナウイルスの患者数が下がっていくのではないかと、第2波、第3波を心配している。

●複合災害への準備に関して落ち着いてから様子を見てしっかり準備をしてほしい。他市の状況も見

つつ落ち着いて考えてほしい。

●そして都の協力金など出たが、条件によっては出なかった店もある。今後そういったところも見てほしい。また、市のユーチューブチャンネルについて整理をお願いする。

●今後状況が変化し、従前には戻らないところも見据えながら、市民全体で新しい時代を考えていかなければならない。

●市職員、市議会議員もしっかりと国や東京都の動きをキャッチし、市民の声を聞きつつ取り組みを進めていきたいと考える。

●各課へ提供している透明フィルムについて、適時点検をしてほしい。

●新型コロナウイルスはこれからも対応が必要と考える。気を抜くことなく庁内、管内でクラスターを発生させないようお願いする。

●令和3年度に固定資産税の減免措置というのが出てくるというところで、商工業を後押しする意味で大いに期待したい。

### 建設環境委員会

●10万円の特別定額給付金について、特に生活に困窮しているというところだけではなく、赤ちゃんが1人いるだけで生活はとて大変になると思う。4月27日の基準日から1日違いで10万円が入った入らないということで大変な思いをされる方がいる

●といけない。ほかの自治体では独自の支援をしているところもある。一考していただきたい

●



## 国立市新型コロナウイルス感染症対策基金が設立されました

6月23日の本会議最終日において、議員全員による「新型コロナウイルス感染症の感染拡大による社会・経済情勢に対応するための基金設立の決議の提出を求める動議」が提出され、可決されたことを受け、市長より第54号議案「国立市新型コロナウイルス感染症対策基金条例案」、第55号議案「市長等及び教育長の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例案」が提出され、いずれも全会一致で可決されました。主な内容は以下の通りです。

- この基金は新型コロナウイルス感染症の対策に必要な資金に充てます。
- この基金は広く市内外に寄付等のご協力を呼びかけます。
- 原資には次のものを充てます。

### ①令和2年7月～12月までの市長・副市長・教育長の給与等の一部カット(概算)

市長	給料月額と期末手当から20%カット分	→	1,613,100円
副市長	給料月額と期末手当から15%カット分	→	1,037,903円
教育長	給料月額と期末手当から10%カット分	→	636,750円

### ②令和2年度国立市議会議員政務活動費交付金の全額 → 2,520,000円

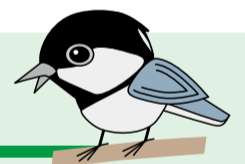
### ③令和2年度国立市議会常任委員会の視察に係る旅費等の全額 → 1,688,000円

市民の皆様の努力により、国立市内での感染者数は12名(7月27日現在)と少ないとはいえ、全国的にはまだまだ予断を許さない状況です。今後、第2波・第3波の恐れにも備えなければなりません。必要な場所に適切な支援がされるよう、国立市新型コロナウイルス感染症対策基金にご協力をよろしくお願い申し上げます。

(寄付の方法につきましては、右QRコードの市ホームページにてお知らせしております)



## 知ってる？市議会あれこれ



### 前回に引き続き、議会の用語を説明します！

#### 「定足数」とは

会議を開くために必要な最少限度の出席者数のことで、これに達しないと会議を開くことはできません。本会議の定足数は議員定数の過半数となっており、国立市では11名です。

#### 「動議」とは

会議において議員が予定議案以外の案件を提案することです。他に賛成者がいないと議題として取り上げられず、動議は成立しません。

## 新型コロナウイルス感染症対策としてオンライン会議の可能性を探っています



常任委員会や特別委員会が行われる委員会室。通常時であれば室内には、議員(委員)・職員合わせて80名ほどが入ります。三密を避け感染拡大を防止するために、現在議会運営委員会を中心に会議の運用のあり方を模索しています。

写真は先日行ったオンライン会議の模擬運用の様子です。委員会室には職員(出席説明員)が入室し、議員(委員)は控室、自宅など別の場所から審査を行う想定です。

音声や画像の不安定さなどの課題はありますが、感染症の第2波・第3波に備えて、議会を止めないためにオンライン会議をはじめ、様々な対策を講じておく必要があると考え取り組みを行っています。